

武蔵村山市 ボランティア・市民活動センター

市民力アップを目指す広報紙

No.22 (通巻 125 号) 2017.10.20

Collabo-ba

■コラボ・バ■



[Contents]

◆協働トピックス

◆VOICE ー声ー

◆インフォメーション

◆センターからのお知らせ

平成29年度実施中の 協働事業情報交換会 が開催されました!

昨年は中間報告会という名称で開催されたものを、今年から協働事業を実施している団体同士が集まり、お互いの活動や取り組みを紹介する情報交換会という形で行いました。

平成 29 年度実施中の協働事業（団体名と事業名）

3年目
(最終年度)

グラシオス プラント パートナー「武蔵村山市を花と
緑であふれる素敵なまちにして癒しの景観を創る」

2年目

むさし村山ストリートダンス協会
「ムラッパーの武蔵村山市 PR 作戦」

3年目
(最終年度)

武士団・村山党の会「中世・村山郷を中心に活躍した
「武蔵武士団・村山党」を活かした地域おこし第3弾」

◆協働事業を提案して

良かったこと、困ったこと、団体として努力したこと、協働の市役所担当課への意見、協働事業終了後の展望などが活発に話し合われました。特にどの団体も協働事業提案制度としての事業終了の展望について、資金の面とマンパワーの面から継続に不安を感じており、市の事業化を図る道と、助成金や寄付を集め継続する道の2つを念頭に活動していることが報告されました。

◆現状の問題点

そもそもの担当課とのマッチングの問題や、団体と担当課職員とのコミュニケーションレベルでの意識のすり合わせができていないなどの課題が共有されました。協働事業提案制度は市民団体のアイデアを活かして、まちづくりを団体と行政とが協働して行っていくという制度です。団体の目指すまちづくりを実現するために行政を変えるのではなく、自分たちの仲間意識と活動する喜びや楽しさをどうみんなに伝えあうかが先決ではないだろうか、そして活動に共感する人を増やすことで、資金や協力者を増やし「夢」を実現していく。協働事業提案制度の期間を、そのために有効に活用して欲しいと強く感じました。

平成 30 年度実施 武蔵村山市協働事業提案制度公開プレゼンテーション

来年度に実施される予定の提案事業の公開プレゼンテーションが開催されます。市民団体の提案による提案を、市と協働する事業に採択するべきか否かを判断するための団体によるプレゼンテーションです。

ぜひ傍聴にお越しください。

※審査は非公開。またプレゼンテーション中の発言・質問等は不可

▼日 時 ①10月24日(火) 19:10～20:50 / ②10月26日(木) 19:10～19:55

▼会 場 ボランティア・市民活動センター（市民総合センター2階）会議室

▼申込み 不要。直接会場へ（午後7時までにお越しください）

▼問合せ 武蔵村山市役所 042-565-1111 協働推進課（内線242）



ご注意ください!
2日に分けて開催

① 19:10～19:55

事業名:「むさむら ゴミ減大作戦」…団体育成型
団体名: MSP (村山サポートプロジェクト)
概 要:「リサイクル祭り」の開催を中心に、家庭
ゴミ削減の意識を広く市民に啓発する。

① 20:05～20:50

事業名:「みつつのわ ～ミツ藤から始めよう～」…団体育成型
団体名: みつつのわ
概 要: 多世代、多目的そして国際交流をもとに、顔見知り
を増やすことで、防犯、見守りにつなげ、地域活性化に
よる住みよい武蔵村山市をつくる。

② 19:10～19:55

事業名:「ムラッパーの武蔵村山市 PR 作戦」…協働型3年目
団体名: むさし村山ストリートダンス協会
概 要: オリジナルキャラクター「ムラッパー」とオリジナル
ダンスで市内外に武蔵村山市の知名度アップを図る。

団体育成型…「協働型事業」を目指す市民活動団体が
単独で企画し、実施する事業部門で、企画力、事業
行能力などの基礎的な力を高めるための事業が対象。
協働型…市民活動団体と市が目的を共有し、企画立案
から事業の実施まで連携しながら行う事業部門。

協働事業のその後

■ちびっこ名人育成プロジェクト

NPO 法人むさしむらやま子ども劇場

プロのこま芸人「こまのたけちゃん」を招いて、放課後子ども教室で、たくさん子どもたちにこまとけん玉の指導をしていただいたこの事業は、協働事業の取り組み前から、いくつかの保育園や子ども劇場の企画として実施していたものを、すべての放課後子ども教室で実施できたのは、協働事業提案制度のおかげでした。団体育成型1年間、協働型3年間で、各校50名から80名の子どもたちが熱心に練習を続けてくれたものを、やめてしまうのは残念なので、助成金や補助金を探しながら、各校年に1回だけと回数は減りましたが、何とか継続しています。



デエダラまつりの大きなステージで、大勢のお客様を前に披露する「ちびっこ名人登場！」では、練習以上の結果を出す子どもたちには、脱帽です。「本番に強い子どもたち、本当にスゴイ!!」

■ 児童館親子ひろば事業

NPO 法人**はぐ**いつひよファミリー育はぐ

協働事業提案制度による「親子コミュニティ広場」が終了し、今年度から本事業化され、市の委託事業「児童館親子ひろば事業」と名前を変えて始まりました。8月までは残堀・伊奈平児童館、現在は改修工事のため場所を変え、中藤児童館他で0歳から親子で遊べるひろばを開催しています。

ひろばでは、誕生会・パネルシアター・ペープサート・オリジナル手遊び・歌遊び・ふれあい遊び等、毎回違う楽しい催し物やおもちゃも豊富。家庭ではなかなか手に入らない木製や布製のおもちゃは、協働事業実施中に買い揃えました。



いつも20組以上の親子が集まるにぎやかなかで子どもたちは、次から次へとおもちゃを手に取り遊んでいます。手遊びやわらべ歌は、子どもだけではなく、ママたちにも楽しいと好評です。

団体育成型・協働型の事業を終えた後も様々なかたちで事業は続いています。

伝承遊びの良さは、どんな子でも一生懸命練習すればうまくなるということです。また、異年齢の子どもたちでの練習は、放っておいても自然にルールや思いやりが生まれてくことも魅力です。できなくて困っている子に声をかけてあげたり、勝負のルールを守ってズルをしないことが、自然に身についているのか、ほほえましいシーンがあちこちで見られます。



協働事業が終わって今年で3年、これからも何とか資金を集めて、この事業を続けていきたい、続けるべきと考えています。最初に参加してくれた子どもたちはすでに中学生、高校生になっていて、学校の帰りに通るかかった子どもが、後輩の様子を見に体育館に寄ってくれたり、弟や妹に教えてくれているようすを耳にすると、なんだかほっと心が温まります。そんな子どもたちの姿にやる気をもらっている大人たち。頑張らねば!

大人気の思い出手型足型づくりは、その季節に合ったアレンジをしながら、スタッフのお手伝いも加わり、初めての方でもなかなかの完成度。子どもの成長はあっという間、毎月とった手形を綴ればひとつの成長の記録にもなります。



市内には未就学児がママといっしょに気軽に遊べる施設が少ないため、児童館親子ひろば事業は親子にとって貴重な遊び場です。また様々な資格を持ち、経験豊かなスタッフがいたので、子どもを遊ばせながら、育児に関する悩みや相談などにも対応しています。何よりも、通ってくる親子どうしがお友達になり、同じ悩みや楽しみを共有しあい、つながりあう場となっているひろばです。

これからもたくさんの親子に参加していただき、仲間を作って、楽しく子育てできるようにと願いつつ、いずれ皆さんがサポートする側になり、更なる事業展開ができるようになるといいですね。

募集

演奏仲間募集

尺八現代吹奏会（尺現会）

尺八の音色を一緒に楽しみましょう

童謡から演歌、ポップス、クラシックまで、あらゆるジャンルの音楽を五線譜を使って演奏しています。
腹式呼吸で健康増進、また指を使うことで脳が活性化されます。

いつでも『初心者 3 か月会費無料講座』で体験できます。
尺八の持ち方から、音の出し方、譜面の読み方までご指導します。



定期演奏会を
予定しています。
ぜひお出かけ
ください。

- ◆練習日時：毎週 1 回
- ◆場所：市民総合センター 2 階
- ◆会費：月会費 ￥3,000

無料です

日時 平成 29 年 11 月 26 日（日）
13:00 開場、13:30 開演
会場 天寧寺（てんねいじ）本堂
東青梅駅から徒歩 15 分
青梅市根ヶ布 1-454
予定曲目
コンドルは飛んで行く・運命
川の流れのように



◆問い合わせ 尺八現代吹奏会 ☎ 大野 042-557-8685 または 伊東 090-3043-5029

参加者募集

武蔵村山市教育部文化振興課

生涯学習フェスティバル

日時：平成 30 年 3 月 4 日（日）10:00 ~ 15:00

場所：市役所市民駐車場 等

「生涯学習フェスティバル」は、皆さんが身に付けている技術を市民が体験・学習しながら交流を図る催しです。
このイベントでは参加者を募集しています。

- 1 出展者 遊びや物作り等の技術をお持ちの方
- 2 出演者 演奏、ダンス等で活動している市内の団体
- 3 ボランティア 飲食物の販売、清掃等

◆問い合わせ 教育部文化振興課 ☎ 042-565-1111（内線 656）

参加者（団体）募集

● 詳細は 11 月 1 日の市報に掲載します。

【申込み・問合せ】

ボランティア・市民活動センター（市民総合センター 2 階）

TEL：042-590-1430 FAX：042-590-1436

Eメール：v.shimin@musashimurayama.org ホームページ：http://musashimurayama.org



会員・サポーター大募集

NPO 法人 いつひよファミリー・育はぐ^{はぐ}

あなたの子育て応援します！

NPO 法人 いつひよファミリー・育はぐ^{はぐ}

会員・サポーター大募集



子育てや福祉活動に興味ある方大募集!!

- 子育てひろば開催しています。市報【子育てイベント】欄をご覧ください。
ご連絡お待ちしております。



子育て中のお母さん・主婦・シニア大歓迎。
年齢・性別不問。随時募集
まずは、見学からどうぞ。親子での参加も可能です。



◆問い合わせ NPO 法人いつひよファミリー・育はぐ 代表：齋藤 ☎ 090-4124-7732

オレンジカフェ

NPO 法人 シニアメイトサービス

認知症の方・ご家族・支援者の集う場

シニアメイトの オレンジカフェ

毎月第4土曜日開催

「楽しむ・学ぶ・相談する」がオレンジカフェの3要素！おいしいお茶とお菓子をいただきながら楽しむ、スペシャルプログラムも用意しています。当日お好きな時にお越しただいてもOK。相談コーナーでは、社会福祉士、認知症ケア専門士、看護師がお待ちしております。お気軽にご相談ください。

日 時：2017年11月25日（土）13～16時

場 所：市民総合センター 1階「茶花」

参加費：200円（お茶とお菓子付き）

※12月は23日予定

オレンジカフェ（認知症カフェ）とは

認知症の人と家族、地域住民、専門職等の誰もが参加でき、集う場です。

厚生労働省による「認知症施策推進5か年計画（オレンジプラン）」では、認知症の人やその家族等に対する支援として、認知症カフェの普及などにより、認知症の人やその家族等に対する支援を推進する。」と位置付けています。

◆お問合せ NPO 法人 シニアメイトサービス ☎ 042-564-0011

VOICE 一声—
原稿募集「活動のPR」や「会員の募集」などの
情報をお寄せください。

【投稿規定】

※400字以内にまとめ、ボランティア・市民活動センターまでお寄せください。

※原稿の締切日は、原則として奇数月の20日です。

※編集の都合上、原稿の整理、手直しをさせていただくことがあります。

原稿がなくても、
お気軽に声をかけて
ください。
対応させていただきます。

第3回 市民活動見本市

市民発!!

元気フェスタ

2018年5月20日(日)

10:00 ~ 15:00

※終了時間をこれまでより1時間早めました。

募集团体数

- | | |
|--------------------|--------|
| ① 飲食販売 | 20店舗程度 |
| ② 移動販売車コーナー | 3台 |
| ③ フリーマーケット | 5店舗程度 |
| ④ ステージ発表 | 12団体程度 |
| ⑤ 展示PR・相談会・ワークショップ | 13団体程度 |
| ⑥ 活動紹介のみのポスター展示 | 制限無し |

参加料

一律 1,000 円 (申込時に納入してください。)

※ 販売をする団体は、当日の売上の1割も別途いただきます。

申込方法

申込書に記入し、ポスター原稿と一緒にセンターにご提出ください。

(メール・FAXでも受付可)

申込書配布場所

ボランティア・市民活動センター及びHP (<http://musashimurayama.org/>)
市役所/地区会館/ふれあいセンター/さくらホール

締め切り日: 2018年1月31日(水)

募集要項を
ご確認ください。



子ども劇場の話 その二

むさしむらやま子ども劇場の誕生

佐藤哲子

1989年三人目の子どもを出産後もサークル長さんが届けてくれるチケットを持って、鑑賞を続けていました。楽器の演奏会や、演劇、人形劇、舞台の上では色々なお話や音がきらびやかにまぶしく進み、一時親子で夢の世界に！思いがけない喜びを感じたり、私がつまらなくても、子ども達は喜んでいたり、その時によってそれぞれ感じ方が違うのが新鮮でした。観た後顔見知りの人達と感想を言い合えるのも魅力の一つでした。身近な人を誘って仲間を増やし、その中で軽いお食事会、クリスマス会や新年会等を企画したりと、私の家集まり子どもは子ども同士で遊び、親たちはおしゃべりに夢中になりました。子育て中の母親である私は、有る意味孤独感をかかえおしゃべりに飢えていて、何気ないおしゃべりができるのが幸せでした。

そして私がサークル長として、立川子ども劇場の事務所での話し合いに参加するようになりました。立川の事務所には、まだ独立していない他地域のこども劇場(東大和、東村山、国分寺、小金井等)の青年達も一緒に、自分たちの地域にどのような子ども劇場を広めていこうかという話題が中心でした。

その頃、武蔵村山の会員数は約150人、サークルの主だった人達を招集し、武蔵村山子ども劇場準備会ができました。地区会館に集まり、市内で何か楽しいライブや催し物がしたいと夢を語りあい実現に向けて、幾度も話し合いました。そして、会員数が300人になった1993年、めでたく、むさしむらやま子ども劇場が誕生しました。サークルの会員として活動するというより、地元で生の舞台を鑑賞することが出来るという魅力だけで充分でした。(つづく)

NPO・協働 個別無料相談

NPO・協働 よろず相談

毎月第4土曜日 定期開催中

【11月の相談日】
25日(土)
13:00～17:00

【12月の相談日】
16日(土)
13:00～17:00

無料!!

※あらかじめ、電話・ファックス・メールで相談内容の概略をお知らせください。
※年度末書類作成・助成金などの相談もどうぞ。

登録団体・人材パートナーズ

まなぶとできる

体験ワークショップ

押し花でウッドプレート作り

当センターのサロンを、おしゃれに演出している「押し花アート」の作者による講座です。

日時：11月21日(火) 13:30～15:30

場所：総合センター2階 作業室

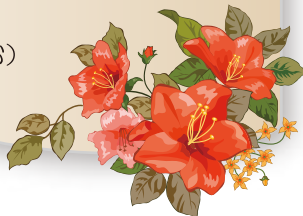
講師：浜中 昌代 氏

(はなみずきの会 代表・人材パートナーズ登録者)

定員：10名(応募者多数の場合は抽選)

持ち物：はさみ

材料費：700円(材料費含む)



まなぶとできるって?

「まなぶとできる」は、登録団体と人材パートナーズ(知識や技能・経験を持つ方)の、体験ワークショップで、活動紹介や会員募集を目的としています。

団体の活動を広く知ってもらいたい、地域でボランティア活動したい、新規会員を募集したいなど、「まなぶとできる」で団体の活動をPRしませんか。

まずはボランティア・市民活動センターにご相談ください。



年末スペシャル企画

あわただしい年末のひととき

オカリナと絵本(読みきかせ)を聞きながら、紅茶でちよつとひととき

「まなでき」初の特別企画!

出入り自由!

コラボもあるかも!

紅茶専門店のオーナーがいれる紅茶を飲みながら、オカリナの優しい調べを聞き、絵本読みのスペシャリストたちの世界観を体験しませんか?

日時：12月9日(土) 10:30～12:30

場所：総合センター1階 ロビー

参加費：200円(フレイバーティーがつきます)

※小学生までのお子さんは無料です。

ゲスト：オカリナ風雅(登録団体)

読みきかせたい「じんじん」(登録団体)

藤島 孝子 氏

(紅茶専門店 KANDY オーナー・人材パートナーズ登録者)

年末恒例特別企画



ちよつと早い
たにけん
クリスマスライブ

2017年12月15日(金)19:00開演 ライブハウス謝々祭

大人3500円 子ども1000円

NPO法人 むさしむらやま子ども劇場

ほほえみサロンのご案内です。

来たことない方は、
ちょっと覗きに来て
ください。自動販売機も
あります。

サロンの自販機は「夢の貯金箱」に
なっています。一本買うと 10 円寄付
の社会貢献になります。

ひろばで遊んだ後に
お子様とランチや
おやつ休憩にも
いいですよ。

サークル活動の打ち合わせにも
いかがですか？

市内、市外の市民活動の情報
収集もできますよ～。



私達スタッフは毎日
ランチをここで食べてい
るので、お昼頃はいい
匂いがしているはずですよ!!

2階長い廊下の一番
奥の部屋ですよ。

市民活動ナビ

昨年、今年と 2 回開催された市民
発!! 元気フェスタで作成した、市民活
動団体と企業の活動を紹介したパネル
を、活動分野別に整理・掲載した冊子
を作成中です。

タイトルは、「市民活動ナビ」。これ
から活動を始めたい方、ボランティア
や NPO を活用したい方、自分の活動
とコラボできそうな団体を探している
方、様々な方のお役に立てる 1 冊です。

今年中には市内各公共施設で頒布の
予定ですので、ぜひ手に取ってみてく
ださい。

吉富

11月・12月の休館日

日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3	4					1	2
5	6	7	8	9	10	11	3	4	5	6	7	8	9
12	13	14	15	16	17	18	10	11	12	13	14	15	16
19	20	21	22	23	24	25	17	18	19	20	21	22	23
26	27	28	29	30			24	25	26	27	28	29	30

■休 館 日 月曜・祝祭日・年末年始・施設点検日
■窓口取扱時間 8:30～17:00

今号の表紙

9月から始まった市民ライター養成講座。講
師の井上さんは文章のプロであると同時にワー
クショップデザイナーでもあります。初対面で
何を話してよいか分からなかったり、同じ団体の
参加者どうして固まりがちになったりすると
ころを、毎回色んなアイスブレイク(緊張を解き
ほぐすための手法)を使い「同じ目的を目指す仲
間」として学びの場づくりを行います。

これからどんなふうに講座が進んで行くか、
一参加者としてとても楽しみです。(吉富)

ほっとひと息

我が家の次男が9月になると集め始めるオシ
ロイバナの種。今年も毎日幼稚園から持って
帰ってくる日が続きます。「今日は何個あると
思う？」がバスを降りての第一声。

最初のうちは缶に入れて、何個になったか
なあと数えるけど、もう9月末になると缶が2
個分満タン。去年の分も残っていますが、捨て
られない。どこに種を蒔こうか考え中です。去
年蒔いた種が目を出して綺麗な花を咲かせてい
ます。手入れ要らず咲くので簡単でいいですよ。

武蔵村山市 ボランティア・市民活動センター広報紙『コラボ・パ』No.22 (通巻 125 号)

2017 年 10 月 20 日発行 (発行部数 30,000 部) ※年 6 回、偶数月発行

編集・発行 武蔵村山市 ボランティア・市民活動センター (指定管理者: NPO 法人 むさしむらやま子ども劇場)

〒208-8503 東京都武蔵村山市学園 4 丁目 5-1 武蔵村山市民総合センター 2 階

TEL: 042-590-1430 FAX: 042-590-1436

Eメール: v.shimin@musashimurayama.org ホームページ: <http://musashimurayama.org>

